

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書】

(兵庫県 神戸市立北須磨小学校)

○学校の概要 (平成 15 年 4 月)

神戸市立北須磨小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	なかよし	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	22
児童数	52	49	61	49	67	58	4	340	

本校は、昭和 35 年 4 月 1 日に開校し、本年度で 44 周年を迎えている。武庫離宮の一部に設置された学校で、現在の神戸市立須磨離宮公園に隣接する。

校地内には、樹齢 300 年を越えるクスノキをはじめとしてヤマモモ、クヌギなどの大樹が数多く見られる。建物は、自然の環境をそのまま生かすために点在しており、昭和 33 年に竣工した円筒校舎に続き、東・西校舎が相次いで完成した。校地の北西部には、9000㎡に及ぶ自然林を有し、樹木の観察や昆虫採集、落ち葉や木の実を使った遊びなど、四季を通して活用されている。校地内には、創立時より職員作業で「飼育小屋」「岩石園」「学習園」「動物広場」「昆虫ハウス」「温室」「実験プール」など理科的环境が整えられてきている。ヤギ、クジャク、アヒル、ニワトリ、ウサギ、キジなどといった飼育動物も多数飼われている。

近辺には、閑静な住宅地が広がり、また、源平の合戦で名高い一の谷や名刹須磨寺、景勝須磨浦公園があり、史跡と風光に恵まれている。地域住民の教育に対する関心も高い。

○ モデル事業への取り組みについて

1. 指導と評価の一体化等について授業研究等を通して探りながら、昨年度に続き今年度も評価の研究を深めていきたい。
 - ・ 昨年度の取り組みの反省から、今年度の総合的な学習の時間を中心とした研修のテーマを「自分自身の求めや願いを大切にしながら、仲間と共につくる活動」と設定した。
2. 連携の意味について考え、以下のような目標を設定した。
 - ① 3校種間の交流を通して、お互いの取り組みについて共通理解を深め、小中高へと連続発展する児童・生徒の育ちを図りたい。
 - ② 3校種ともに、地域環境学習をテーマに取り上げることで、共通のフィールドでの活動を計画し、交流を通して地域環境への理解を深めたい。

3 本年度の取り組み

- ・ 5年生の学習「北須磨環境リサーチ」で出された各グループの提言を中学1年生にFAXし、返事をもらうことで交流を進めた。
- ・ 今年度の取り組みをもとに、5年生全児童と中学1年生の代表児童による「環境交流会」を本校で3月9日にもった。交流内容については、中学生4グループの発表をもとに、8グループに分かれ、環境問題について自分たちができることをディスカッションした。
- ・ 昨年度本校で作成した評価規準をベースに、3校種間の縦系列を見通した『児童、生徒に育てたい力系列表』を作成した。
- ・ 来年度に向けて、小5、中2、高2の児童・生徒が共通のフィールドで取り組む予定の地域環境学習の年間計画について概要を検討した。
- ・ 2月4日、本校にて外部講師を招き、小中連携についての合同研修会をもった。

成果

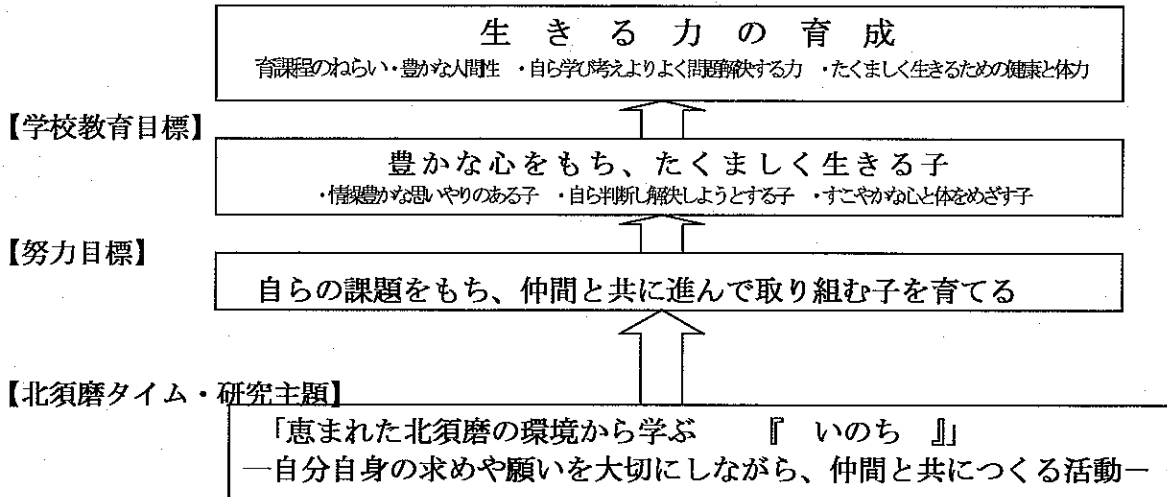
- ・ 小中の教師が、それぞれの授業を参観したり、児童・生徒の交流会を持ったりすることによって、これまで関わりのなかったお互いの取り組みへの理解を深めることができた。
- ・ 小中高合同で『児童・生徒に育てたい力系列表』を作成することで、小中高と一貫した子どもの育ちを共通理解することができた。

課題

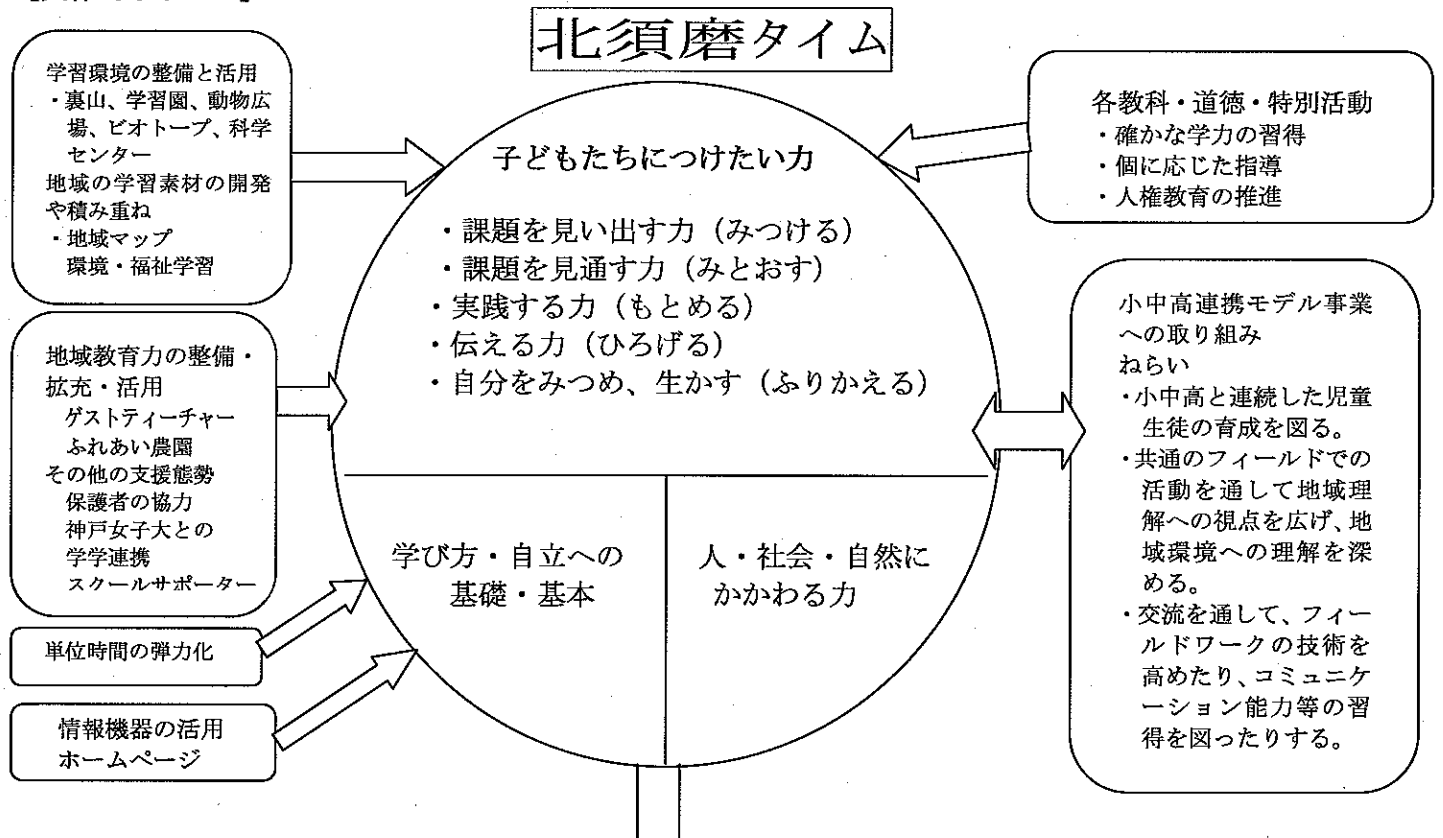
- ・ 3月に実施した「環境交流会」では、今年度の小5と中1の活動場所が異なっていたため、話がかみあわないグループもあり、活発なディスカッションができなかった。共通のフィールドでの活動、あるいは、共通の課題が必要ではないだろうか。
- ・ 中学では、総合的な学習の時間を3年計画で取り組むため、今年度は、スキル学習が中心であった。そのため、5年生の環境調べとは時期がずれてしまい、「環境交流会」の実施が年度末の3月になった。交流会で提案された実践活動の時間がとれなかった。また、来年度は、小5と中2との交流になるので発達段階の差が大きくなる。

- 4 共通のフィールドでの活動の計画を進めている小5、中2、高2生による地域環境学習の年間計画の概要を細かく検討し、交流を進めていく。
 - ・ 小中連携しながら、広く交流を進めていくために、5年生が取り組む地域環境学習以外にも、他学年、他領域についても共有できるものを探り、児童、生徒の交流を進めることによって連携を深めていく。
 - ・ 小中高連携の取り組みについての成果や問題点を探るための実践協議会の開催を検討する。
 - ・ 今年度作成した小中高を見通した評価規準表『児童、生徒に育てたい力系列表』の見直しをする。
 - ・ 小中高の縦系列を見通した『環境学習内容系列表』を作成する。

総合的な学習の時間「北須磨タイム」全体計画



【具体的な手立て】



	各学年の取り組み	取り組みのねらい
3年	動物はかせになろう	<ul style="list-style-type: none"> ・動物とのかかわりを通し、自然環境とのつながりをもつ。 ・命の大切さを知り、生きるということは、自他の命を大切にすることに気付く。
4年	安全なの？私たちのまち	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人々の命を奪った恐ろしい阪神・淡路大震災について調べ、理解を深める。 ・震災後に見られた助け合いやボランティア活動などを調べることによって「共に生きる」ことの大切さに気付く。
5年	北須磨環境リサーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守ろうと活動されている人たちと共に活動したり、地域の環境を調査したりして、自分達の町を見直す。 ・環境を通して、自然と人との共生、人と人との共生を考える。
6年	平和プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を体験された人や平和を守ろうと活動している人々と交流し、平和の大切さを見つめ直す。 ・平和の大切さに気付く、今の自分達にできることを考え、伝える。